

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア (ブラックベリー)		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		～ 2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	思春期に合わせた発達支援： 中高生の事業所のため、思春期の仲間との絆づくりを大切に支援をしています。学年ミーティングや小グループでお互いの気持ちを共有するなど、安心できる居場所づくりの工夫をしています。また、自立に向けた話し合いなども行なっています。	学年ミーティングは、一人ひとりが自分の意見や気持ちを話せるように、職員がサポートしながら、自己表現ができるように場所作りをしています。進路の時期は、子どもが自分の将来像を描けるように、個別で丁寧に気持ちを聞いていく時間を持っています。	学年ミーティングだけではなく、他学年との交流が図れる仲間づくりも工夫をしています。
2	学習支援を中心とした基礎学力の保証： 学校の課題が終わらない子どもの助けをするように学習支援をしています。また、社会に出て自立した時に困らないような、最低限の学力の保証を行うようにしています。	一人ひとりの子どもに合わせた計画を立て、目で見て分かるようなプリントを用いたりする等して、わかりやすい達成感があるような学習支援をしています。	学習支援の中に、生活スキルやSNSについての学びの支援も増やしています。
3	家族支援、学校、医療との連携： 月1回の保護者のグループカウンセリングや、保護者との個別面談を行い、子どもの情報共有や困り感を聞いて家族支援をしています。また、法人のクリニック、ショートヘルパー等と連携して支援をしています。地域の中学校とは年一回情報交換会を行なっています。	必要な時は、法人のグループカウンセリングの心理士、ショートヘルパー、相談室など関係者で連携会議を行っています。そして、グループカウンセリングは担任が参加し、保護者とお互いの理解が深まるように関わっています。	グループカウンセリングや保護者との個別面談等を通して、保護者や子どもの困り感に早めに対応できるようにしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	夜間18～21時で開所している放課後等デイサービスのため、徒歩で帰宅する子の安全面の配慮が難しいです。	表通りを歩く、防犯対策を練習する、保護者と帰宅時に連絡を取り合う、などミーティングに話し、安全について意識付けをしています。	引き続き、安全について、子どもと練習し、危険から回避できるように教え練習していきます。
2			
3			